



トキワヒガン No.53

十五日(木)の三時間目に、ビオトープ・ネットワーク中部より、副会長の宇野総一様を講師にお招きし、環境教室を実施しました。これは四年生の子供たちが、清流学習を通じて、**青木川を昔のようにホタルの飛ぶ川にしたい**と考えたことに端を発したものです。

お話の中で、宇野先生からはゲンジボタルの生態や好む環境、餌となるカワニナのことなど多くのことを教えていただきました。

それ以外にも、ホタルが光を放つ間隔には地域差があること(静岡県糸魚川付近では三秒間隔、それより東では四秒間隔、愛知県を含む西側では二秒に一度の間隔で発光するそうです)、また、今は黄色(黄緑)に光るホタルも、一億年前には緑に、それ以前は赤く光っていたことなど、子供たちはもちろん、**私たち教員にとっても、これまで知らなかったことを知る、いい機会となりました。**

今回のお話を受けて子供たちが何を感じ、どのような活動を進めるのか、今後の清流学習が楽しみになってきました。来月の二十一日(土)



に予定しているふれあい授業参観において、子供たちの学習の成果を発表します。多くの方のご参観をお待ちしております。

今月より、恒川ちなみさんが、教員業務支援員として新たにスタッフの一員に加わりました。以前より勤務している野中さん、富田さん、中道さんと同様、本校の教育活動を支えてもらうことになります。よろしく願います。

さくら階段に植わっていたソメイヨシノの植え替えに併せ、階段を上り切ったところ(来賓玄関の西側)に、公益社団法人ゴルフ緑化促進会からの助成金で、キンモクセイとマユミの木を二本ずつ植樹しました。この冬、新たに植樹するジンダイアケボノとともに、子供たちの目を楽しませてくれることでしょう。さくら階段の作業完成時に、関係者、児童、保護者、地域の皆さんをお招きして式典を催す予定です。詳細は後日お知らせしますが、多くのご参加をお待ちしております。ご都合のつく方は、足をお運びください。

